

呼ばれる湧泉がある。田沢の三匹獅子の一行は、ここで身を浄め、神域へと入って行くのである。泉の周辺は、アズキナシ、アカシデ、カスミザクラなどの小さな林があり、泉のまわりにはフキ、トリアシショウマ、ウマノミツバなど多くの草本類が成育している。

路は、ここからアカマツ植林の急斜面を登って尾根に出る。路傍には、ママコナ、オミ



〔茂原川口牧野組合の牧野〕  
約40頭の肉牛が放牧されている。かつての採草地と異り、外国種の牧草が栽培されている。



〔ママコナ〕  
花の下唇に2つの米粒のような模様がある。

ナエシ、オヤマノリンドウ、センブリ、ウツボグサ、アキノキリンソウなど、色とりどりの野草の花が咲く。

尾根にたどりつくと、北方の視界が急に開ける。ここに、天王様の硯石と呼ばれる丸い中くぼみの岩がある。くぼみには天水が溜っているが、不思議なことにこの水は喝れたこと